

## 決算説明会資料

第47期(平成22年4月～平成23年3月)の業績の概況	.....	1	～	5
第48期通期(平成23年4月～平成24年3月)の業績見通し	.....	6	～	10

平成23年5月

株式会社 **ナガワ**

# 平成22年度の(連結)業績概況

## 1. 全般

住宅投資が政策支援(住宅エコポイント)により回復に転じたものの公共投資は補正予算の反動で2ケタの減少となる中、民間設備投資も低迷したまま推移した。  
 そのため、平成22年度の建設投資は前年比△7.4%減の39兆円と昭和52年以来の40兆円割れとなった模様(建設経済研究所)。  
 この結果、ユニットハウス市場及び建設機械レンタル市場は大幅な縮小となった。

## 2. 当社の主な取り組み

- (1) レンタルシェア拡大～業界内で積極的な設備投資とM&A
- (2) 販売拡大策～一般建築物の受注拡大、WEB事業立ち上げ
- (3) 業務効率化～拠点配置の統合・見直しによる配送効率、管理費の圧縮
- (4) 固定費の削減～人件費、地代、広告宣伝費etc.
- (5) 海外展開～ブラジルに現法設立(生産販売は平成23年度から)

図-1 連結売上高の推移

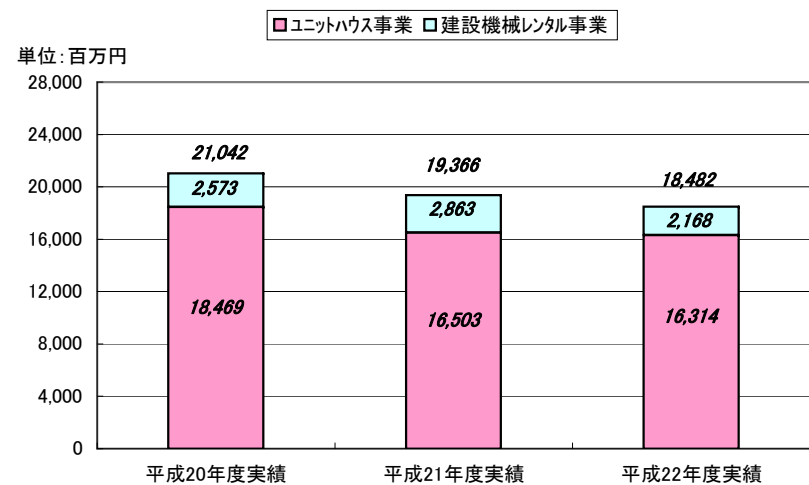
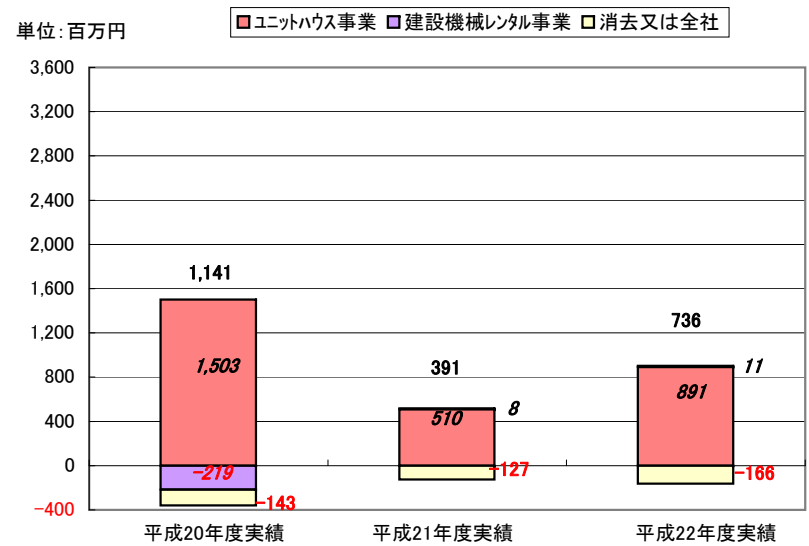


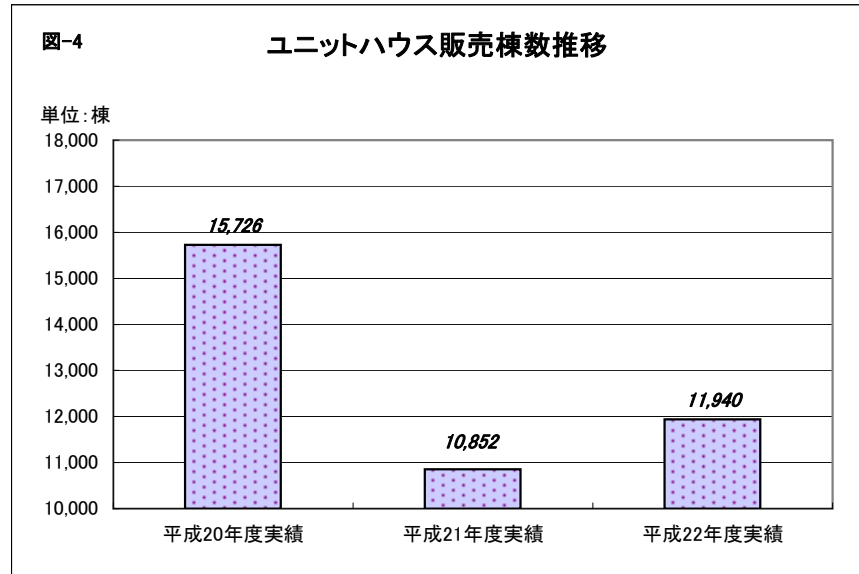
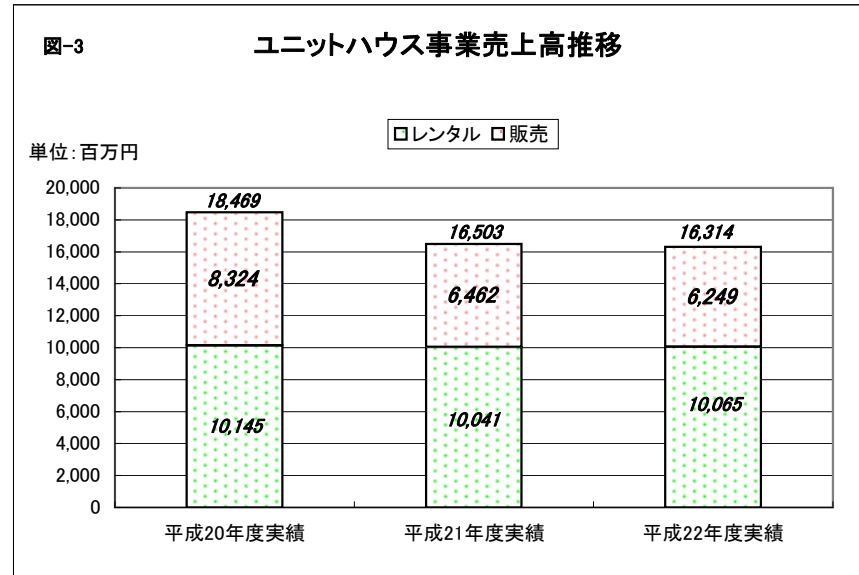
図-2 連結営業利益の推移



### 3.ユニットハウス事業

#### (1) 販売

- ① WEB販売開始(平成22年5月)
- ② 他社買取ハウス(中古)の販売拡大
- ③ 法人客への直接営業の推進
- ④ 廉価商品の投入(当社純製品中古の温存)



(1) レンタル

- ① M&Aによるレンタルシェア拡大継続
- ② ゼネコンへの直接営業を本格化し①と同様にレンタルシェアを引き上げていく
- ③ 備品、付帯工事サービスを一体化した受注活動により他社との差別化を図る
- ④ 機種別単価下限を設定し単価下落を抑制

図-5 期末ユニットハウス貸与保有棟数

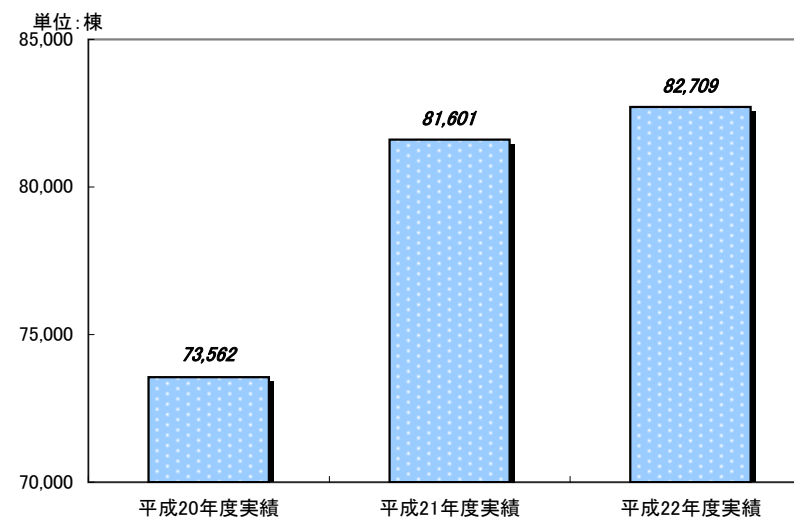
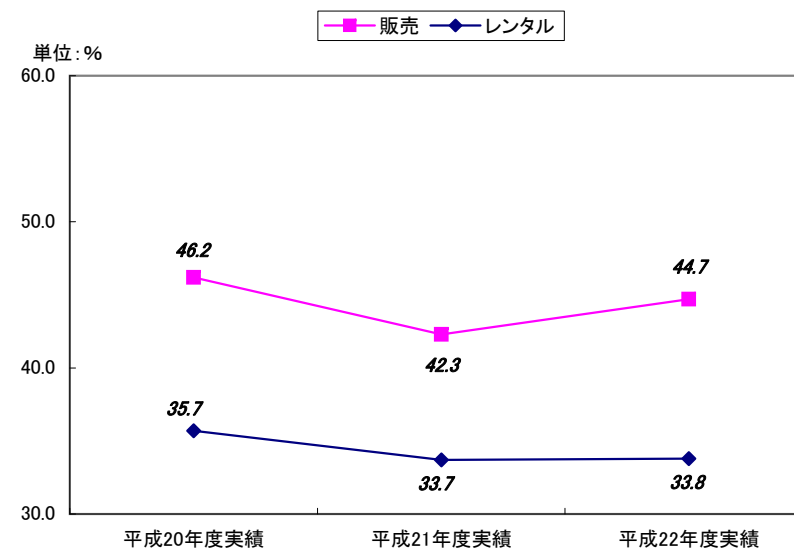


図-6 ユニットハウス事業販売レンタル粗利益表



#### 4.建設機械レンタル事業

##### (1) 業界動向

北海道南部の建設市場は、補正予算の反動で2ケタの市場縮小

##### (2) 当社の取り組み

- ①長期的レンタル資産効率の向上を狙い、中古建機販売を大幅に縮小する一方、仕入建機販売を強化
- ②採算性の低い建設資材販売から上期末をもって撤退

図-7 建設機械レンタル事業売上高推移

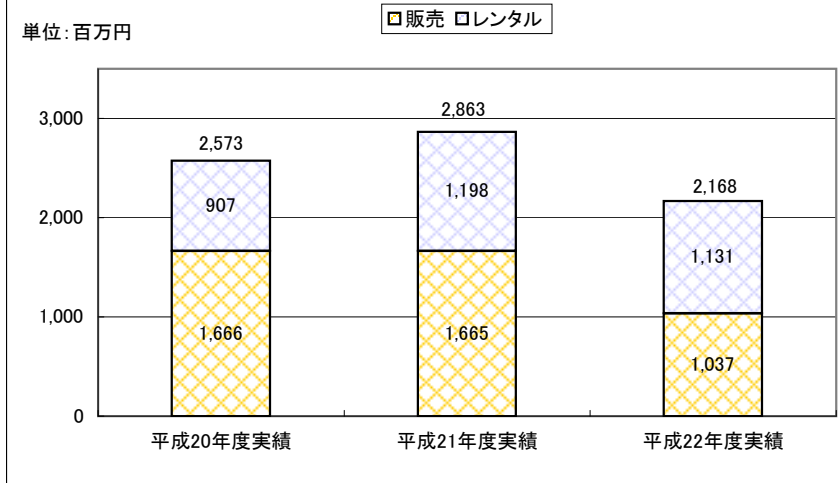
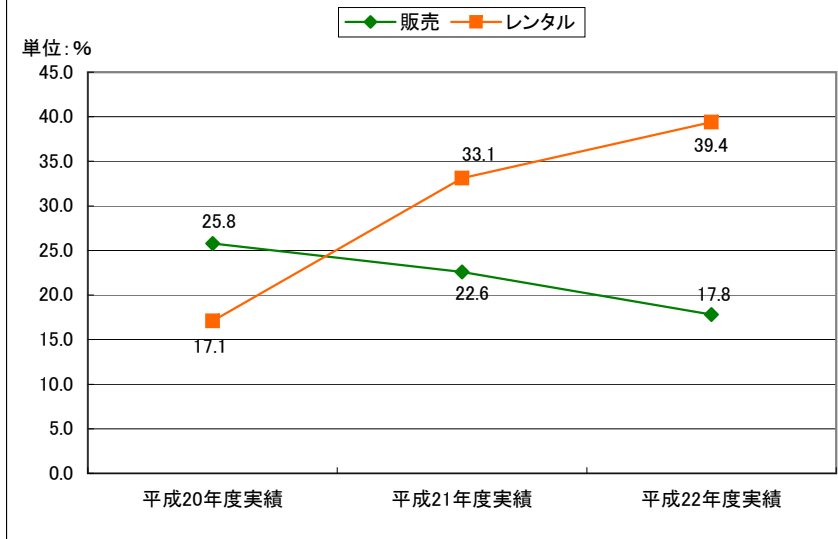


図-8 建設機械レンタル事業販売レンタル粗利益



## 5.設備投資

- (1) 冬場のレンタル稼働の伸びが鈍化したため、貸与ハウスの新規投入が減少した
- (2) 減価償却費は、過去の貸与資産積み上げにより前期を上回った

図-9 連結設備投資の推移

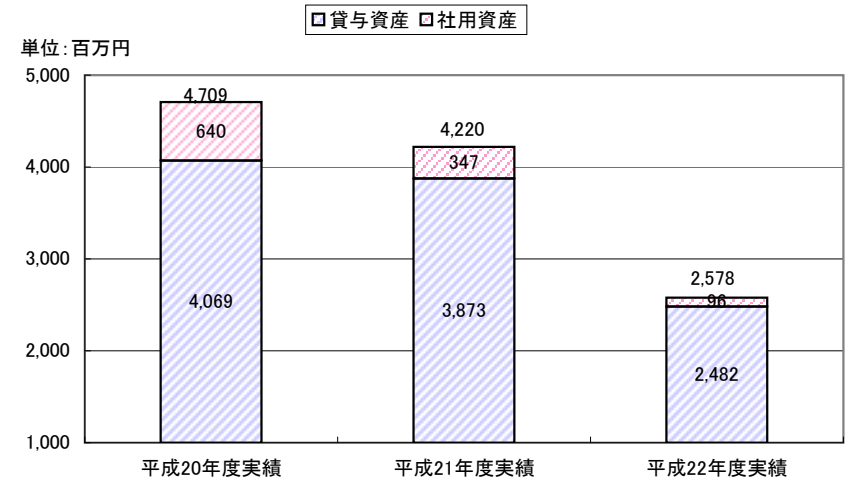
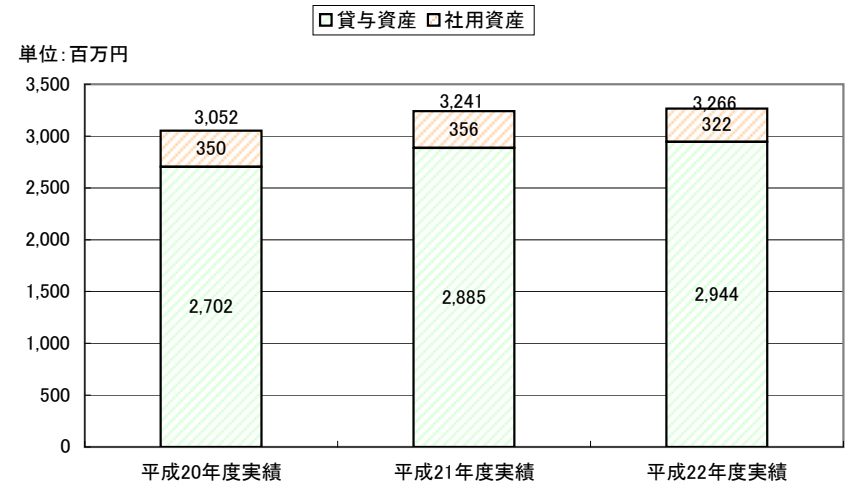


図-10 連結減価償却費の推移



# 今期の見通し

## 1. 全般

震災の影響で、これまで続いた住宅投資の回復基調は一旦停滞するものの、年度後半からは需要・供給マインドの持ち直しが見込まれる。また、民間設備投資も同様に、年度後半から持ち直すと見込まれる。公共投資は、上半期後半から震災の復旧工事が本格化すると見込まれる。建設投資全体では、対前年比8.3%増の42兆2,500億円となる見通し(建設経済研究所)。

## 2. 当社の主な取り組み

- (1) 一般建築深耕、プレハブ・システム建築の本格展開
- (2) レンタルシェア拡大政策継続(M&Aと再び貸与資産投資積極化)
- (3) 値戻しをしつつレンタルシェアを拡大

図-11

### 連結売上高の推移

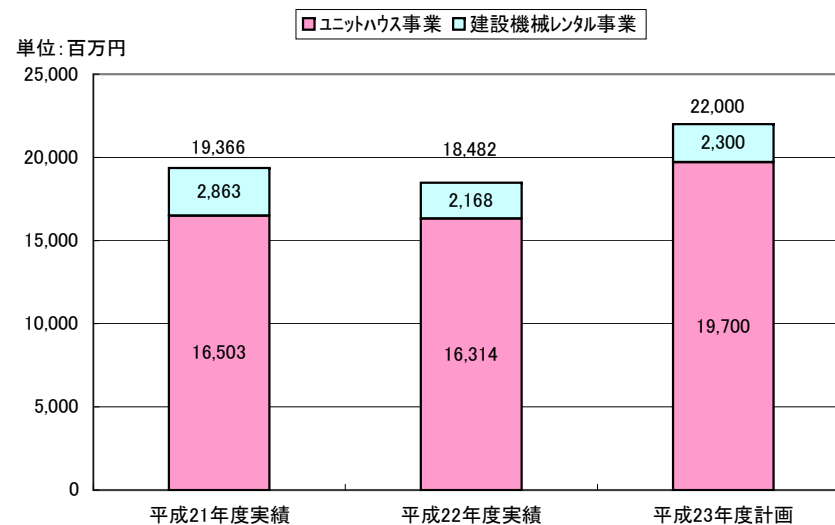
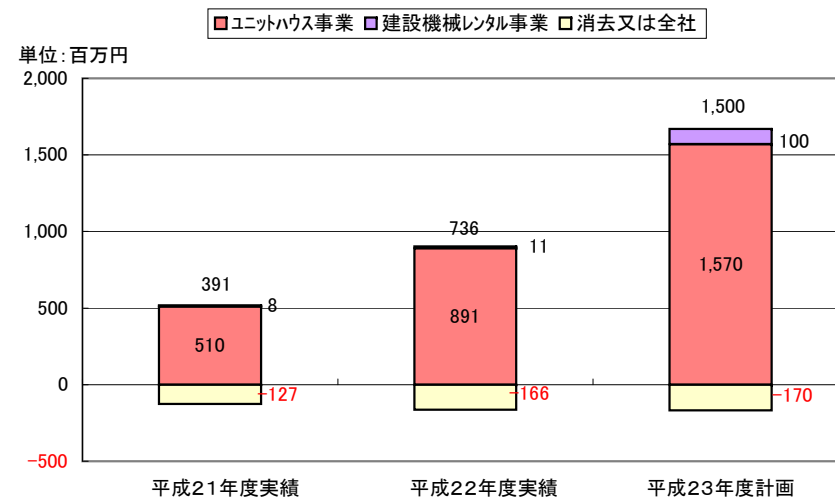


図-12

### 連結営業利益の推移



### 3.ユニットハウス事業

#### (1) 販売

- ① プレハブ・システム建築への本格展開(一般建築)
- ② 展示場再活性化
- ③ 中古販売平常化(他社買取ハウス完売)

図-13

### ユニットハウス事業売上高推移

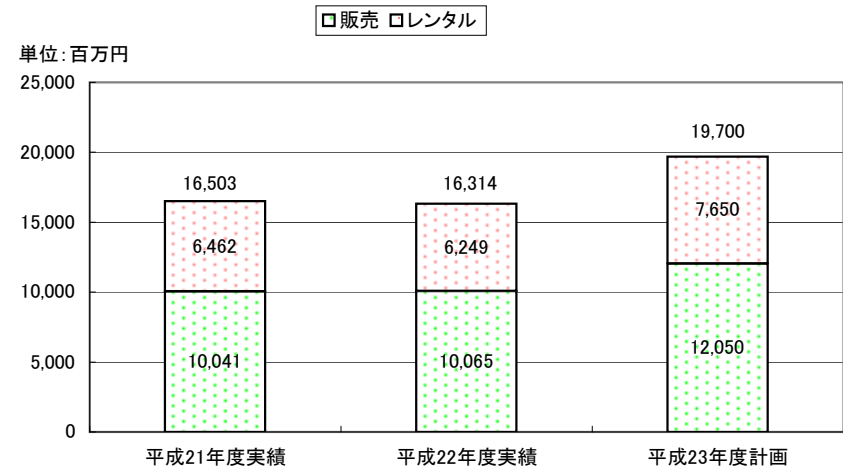
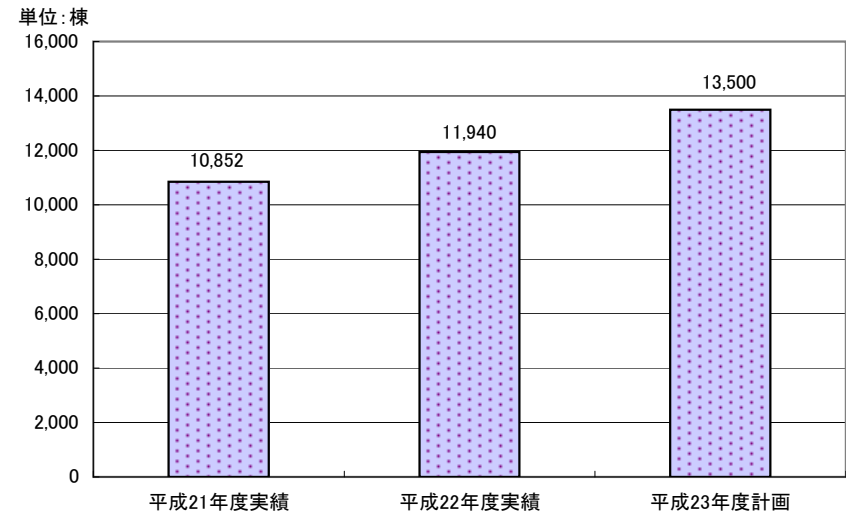


図-14

### ユニットハウス販売棟数推移





(2) レンタル

- ① M&Aによるレンタルシェア拡大継続
- ② ユーザーへの直接営業を本格化し①と同様にレンタルシェアを引き上げていく
- ③ 備品、付帯工事サービスを強化し値戻しを図る

図-15 ユニットハウス期末貸与保有棟数

単位:棟

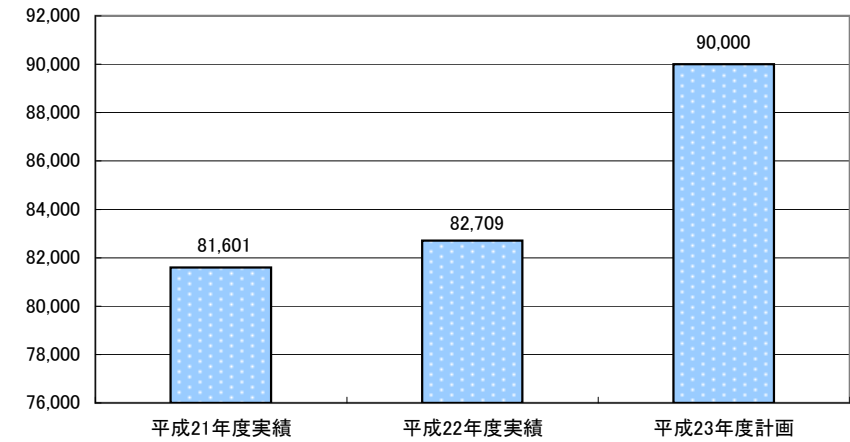
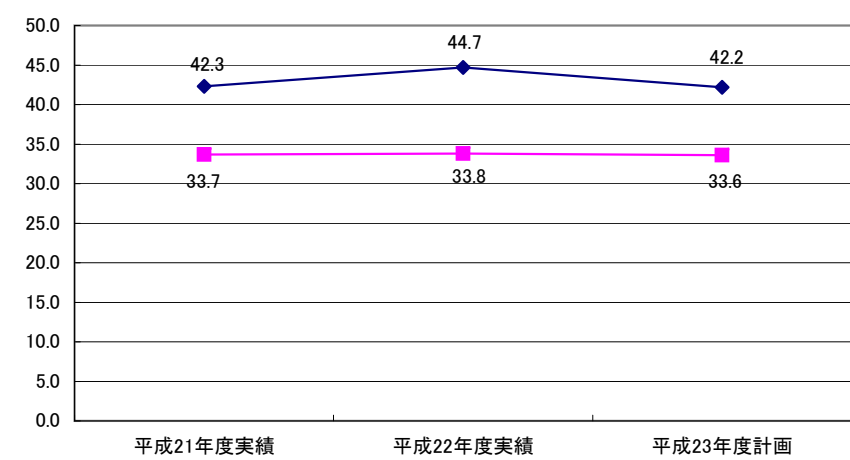


図-16 ユニットハウス事業販売レンタル粗利益率推移

単位: %



#### 4.建設機械レンタル事業

(1) 機種別採算管理強化と転貸活用により粗利益改善を睨む

(2) 建機整備事業を立ち上げ、修理の内製化による修繕費の圧縮と機械整備の受注を本格化する

図-17 建設機械レンタル事業売上高推移

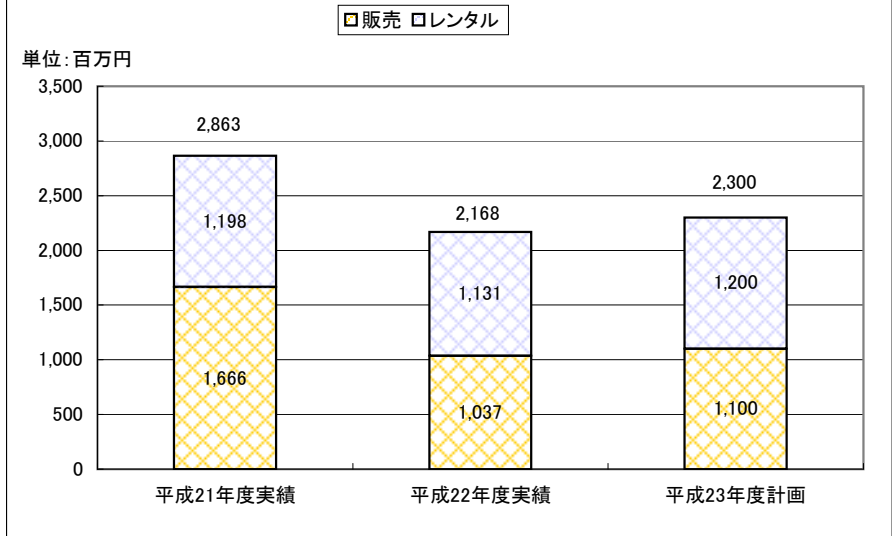
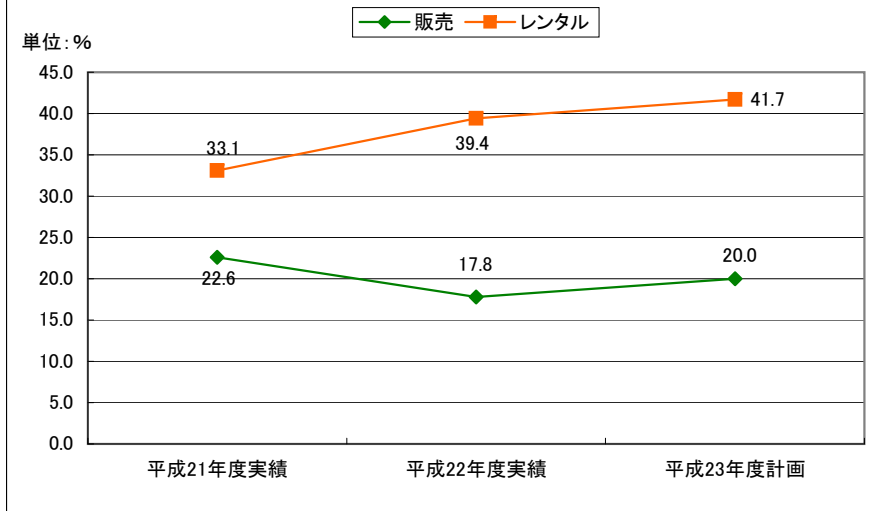


図-18 建設機械レンタル事業販売・レンタル粗利益率推移



## 5.設備投資

復興需要対応及び中古販売暫時平常移行に伴う補充のため、再び貸与資産投資を活発化。  
また、同業者のM&Aについても積極姿勢を継続。

図-19

### 設備投資の推移

□貸与資産 □社用資産

単位:百万円

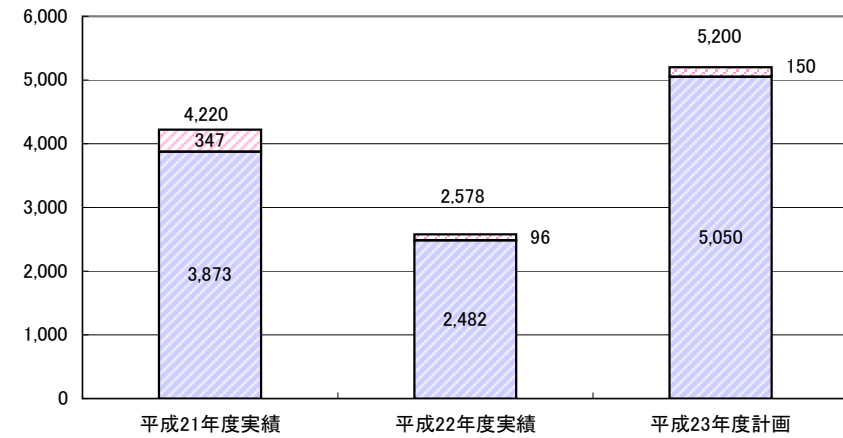


図-20

### 減価償却費の推移

□貸与資産 □社用資産

単位:百万円

